

トップメッセージ



平成30年6月に発生いたしました大阪府北部を震源とする地震ならびに平成30年7月豪雨により被災されました皆さまに対して、心からお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

日ごろより三井住友海上あいおい生命をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当社は、MS&ADインシュアランスグループの国内生保事業を担う中核生命保険会社として、経営理念である、活力ある社会の発展と健やかな未来の実現に向けて取り組んでいます。

2017年度を振り返って

2017年度は、前中期経営計画「Next Challenge 2017」の最終年度として、業界トップ水準の品質と飛躍的な成長に向けて取り組みを進めてまいりました。

品質向上に向けた取り組みとしては、モバイル端末を活用した契約申込手続きのペーパーレス化を推進し、引受可否・条件をその場で提示することができる「自動医務査定」機能を導入するなど、お客様の利便性向上に努めてまいりました。また、HDI-Japanによる格付けにおいて「Webサポート」、「問合せ窓口」、「モニタリング」の3部門で2年連続となる最高評価の三つ星を獲得することができました。

成長に向けた取り組みとしては、2017年4月に就労不能状態や要介護状態といった「働けなくなるリスク」に幅広く対応した「新総合収入保障保険・新収入保障保険」を発売し、多くのお客さまよりご好評をいただきました。

このような取り組みにより、当社は順調に業績を伸ばし、個人保険および個人年金保険の新契約高は2兆6,395億円と前年度から11%増加し、保有契約高についても23兆8,068億円と2.6%増加しました。生命保険会社における保険金等支払余力を表すソルベンシー・マージン比率は、1,726.7%と高い健全性を維持しています。

中期経営計画「Vision 2021」

2018年度より新しい中期経営計画「Vision 2021」がスタートしました。グループが目指す世界トップ水準の保険・金融グループの実現に向けて、当社は「健康で安心な暮らしを支える生命保険会社」を掲げ、さまざまな取組みを強化してまいります。

多様化するお客さまニーズに幅広くお応えしていくため、2018年4月には認知症、出産・不妊治療や抗がん剤治療への保障を新設した「新医療保険A^{エッセ}プレミア」、7月には中長期的な事業保障や経営者の勇退退職金等に備えることができる法人向け新商品「オーナーズロード」を発売しました。

加えて、脳卒中・がんの治療や予防に係るセミナーの開催など、いのち・医療に関する啓発活動や、認知症サポーターの養成等を通じて、お客さまの「元気で長生きを支える」取組みも積極的に推進していきます。

今後も、社会環境やライフスタイルなどの変化に対応した商品・サービスやお役に立つ情報をご提供し、高齢化に伴う介護・医療の負担増や健康寿命の延伸などの社会的課題の解決に貢献してまいります。

また、2018年5月には「お客さま第一の業務運営に関する方針」(2017年6月制定)に関する取組状況を客観的に評価する14の成果指標を公表いたしました。

お客さまの声を真摯に受け止め、これらの成果指標を定期的に検証し、保険募集からアフターフォロー活動、お支払いなど、あらゆる業務においてお客さまの期待を超える品質を追求してまいります。

さらに、成長を支える重点戦略として、ビジネス全体の変革に繋がるデジタルイノベーションを推進してまいります。人工知能(AI)やロボット技術(RPA)等の先進技術の活用により、お問い合わせや保険金のご請求に迅速で正確に対応できる体制を構築するなど、お客様の利便性向上や業務効率化を進めてまいります。

そして、グループ内の国内生損保事業会社との連携をさらに深め、グループ総合力の発揮を図っていきます。

当社は、お客さまに安心と安全をお届けし、安定した人々の生活と活発な事業活動を支えてまいります。

今後とも、当社をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2018年7月

三井住友海上あいおい生命保険株式会社 取締役社長

丹保人重